

## 慢性閉塞性肺疾患：COPD（≒肺気腫）について

## 慢性閉塞性肺疾患：COPD とは

- ・ たばこ煙を主とする有害物質を長期間吸い続けることによる肺の病気です。
- ・ 労作時呼吸困難（体を動かすと年齢の影響以上に息切れがする）、慢性の咳や痰が生じ、進行性で元に戻らない疾患です。
- ・ 感染症などをきっかけに COPD が「増悪」することもあります。
- ・ 病気が進行していくと、痰を出すこと（＝去痰）が困難になり肺炎を繰り返したり、動くのが困難で寝たきりとなることもあります。

## 検査：別紙参照

- ・ COPD の問診票
- ・ 呼吸機能検査＝最も大切な検査： COPD では「肺活量」に問題なく、「1秒率」が低下します。  
（COPD では肺の“収縮力”が低下＝息を吐く力が衰えるため）
- ・ 6分間歩行試験： どのくらいの運動が適しているかを評価します  
（呼吸困難感、酸素飽和度：SpO2、脈拍などで評価）
- ・ 胸部レントゲン±胸部 CT： COPD による肺の構造の変化を評価します。  
※肺癌の検診については、担当医にご相談ください。
- ・ 心臓超音波検査： COPD による心臓への影響の評価、弁膜症などの有無を検査します。

## 治療

- ・ 禁煙 ＝ 最も大切な治療： パンフレットあり： 「ニコチン依存症」の治療は禁煙外来でご相談ください。
- ・ 吸入薬： 狭くなった気道を拡張させ息切れを和らげる、増悪の頻度を下げる。  
※ メリット / デメリットについては担当医にご相談ください。
- ・ 補助的な薬： 去痰薬、鎮咳薬を症状緩和のために使用することもあります。  
その他に可能なこととして、
- ・ う歯(=虫歯)の治療： う歯は肺炎のリスクになり、自然治癒しません： 歯科受診が必要です。
- ・ ワクチン： インフルエンザワクチン（毎年）  
肺炎球菌ワクチン（1回接種で5年間有効：8009円 ※ 助成対象の場合あり）
- ・ 運動療法： いわゆる“筋肉トレーニング”で、体の機能を保つことも重要です
- ・ 栄養指導： 体重減少が目立ってきた場合は、栄養指導についても相談します。
- ・ 在宅酸素療法（＝HOT）： COPD が進行していくと、労作時呼吸困難が著明になります。  
日常生活を快適にし、行動範囲を広げることが目的です。  
デメリットとして、携帯ボンベを持って行動する不便さ、経済的な負担などがあります。  
（条件を満たせば身体障害者の申請をすることで経済的な負担は軽減されます）。

## 将来的なお話

人工呼吸器管理について： COPD の急性増悪や重症の肺炎となり、呼吸が保てなくなった場合に、気管挿管（喉から管をいれること）して人工呼吸器につなぐかどうか決断が必要な時が来る可能性があります。その際、ご本人の意志を確認できないことも多く、時間的余裕のない中で判断することが予想され、事前にご家族と方針を決めておく必要があります。詳しくは担当医にご相談ください。